

令和8年度

# 毛呂山町の教育



『陸上教室』  
(走り高跳び指導の様子)

毛呂山町教育委員会

# 毛呂山町民憲章

平成2年4月1日制定

毛呂山は恵まれた自然と先人の築いた歴史を持つまちです。わたくしたちは、ふるさと毛呂山に住むことを誇りに思い、さらに住みよいまちづくりをすすめるため、ここに町民憲章を定めます。

- 1 ふるさとを愛し、緑と清流をまもります。
- 1 きまりをまもり、明るいまちをつくります。
- 1 ふれあいの輪を広げ、思いやりの心を育てます。
- 1 スポーツに親しみ、健康な家庭を築きます。
- 1 教養を深め、文化のかおりを高めます。



## 町の花・きく（キク科キク属の多年草）

きくは品種が非常に多く、花色は白・黄・桃・紅など様々。園芸上は大菊・中菊・小菊に、咲く形状により管物・厚物・平物などに分けられ、開花期も長く、栽培が比較的容易なため、世界各国で栽培されています。



## 町の木・ゆず（ミカン科の常緑低木）

町の特産物として古くから栽培されてきました。葉腋には棘があつて、葉柄には広い翼があります。5～6月頃枝先に白い5弁の花を開き、長寿の木とされ、実は独特の香りをもっています。



## 町の鳥・めじろ（スズメ目メジロ科）

黄緑色の体と、眼の周りの白い輪が特徴的な小鳥。花の蜜や果実を好んで食べ、四季を通じ町内全域で見ることができ、鳴き声の美しい低山の鳥です。

## 目 次

はじめに	1
教育長及び教育委員紹介・毛呂山町の概況	2
第4期毛呂山町教育振興基本計画	3
令和8年度毛呂山町教育行政重点施策	4
□教育行財政	
・事務局組織の主な事務と教育機関	18
・教育財政	19
・令和8年度並びに令和7年度教育費当初予算（歳出）	20
・学校施設の現況	22
・学校別児童・生徒数と今後の見込み	23
□学校教育	
・学校教育	24
・教育センター	30
・学校給食センター	32
・毛呂山小学校	34
・川角小学校	35
・光山小学校	36
・泉野小学校	37
・毛呂山中学校	38
・川角中学校	39
□生涯学習	
・生涯学習	40
・スポーツ振興	44
・中央公民館	48
・東公民館	52
・図書館	57
・総合公園	61
・歴史民俗資料館	64
□資料編	
・歴代町長・歴代助役・歴代副町長・歴代教育長	69
・歴代教育委員長・歴代教育長職務代理者	70
・歴代委員	71
・教育委員会委嘱委員一覧	72
・令和8年度町立小・中学校教職員数一覧	73

## はじめに

社会情勢が急速に変化する中、少子高齢化や人口減少といった課題は、未来を左右する喫緊のテーマとなっております。このような背景のもと、教育に関する課題が浮き彫りになるとともに、学びの質と量、形態の変革がもたらされ、これからの社会を展望する上で、教育の果たす役割はますます重要となってきています。学習活動を継続していく中で、創意を活かした社会生活や学校教育活動への対応と、安全安心な日常生活、学校及び社会教育活動に、また町内各公共施設の積極的な利活用に町民の皆様の多大なご理解とご協力いただきましたことに、心より御礼申し上げます。

毛呂山町内各学校ではGIGAスクール構想により整備されたICT環境を活用し、児童生徒一人一人の学習進度や興味、関心に合わせた学びや、児童生徒同士の相互のやり取りの中で理解を深める学習が行われるようになりました。コロナ禍の前の学校とは大きく異なる多様な教育活動が生み出されています。教職員は保護者や地域の方々と協働し、児童生徒に多様な学びの提供と自己肯定感を育むために、家庭と連携した指導を継続してきました。町教育の大きな柱である「未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト」事業では、毛呂山中学校区、川角中学校区において児童生徒の学習活動や体験的な交流事業、教職員の研修を計画的に実施し、小中学校9年間を見通した系統性のある教育活動を推進してきました。今後も引き続き地域との協働を通し充実した事業展開を目指し、より一層創意を活かした取組を実施してまいります。

令和8年度は、本年度から令和12年度までを計画期間とする「第4期 毛呂山町教育振興基本計画」の初年度となります。この計画は、大きく変わる社会状況下において、確かな学力の定着と自立する力の育成など社会の変化とともにこれからの時代を生き抜き、誰一人取り残されず、すべての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育を推進し、持続可能な社会の創り手の育成といった教育の使命を掲げております。各小中学校では、「未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト」の推進を通して、小中学校9年間を見通した教育課程の編成と実施、児童生徒の「確かな学力」の向上を目指すとともに、地域を担う人づくり、コミュニティ・スクールの推進について、学校を核とした家庭・地域の絆づくりに組織力を発揮して取り組んでおります。また、タブレット端末を活用したGIGAスクール構想の着実な推進に、デジタル技術の良さを活かした多様な学びやAIドリルを活用した学びの継続と家庭学習の充実をさらに進めてまいります。

これまでの教育活動の知見をもとに、蓄積されてきた諸活動の運営・実施方法と新たに生み出されてきた多様な活動実践の工夫を取り入れて、令和8年度も諸事業を計画的に推進してまいります。今後も町民の皆様に安全安心な学びの場を提供することを念頭に、皆様のニーズに合った学習活動の提供に努めてまいります。

結びに「毛呂山町の教育」を多くの皆様にご高覧いただき、毛呂山町教育行政に対しまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月

毛呂山町教育委員会教育長 高 沢 佳 弘

## 【教育長及び教育委員紹介】

令和8年5月1日現在



教育長  
高沢 佳弘  
(任期)  
R8.1.4  
┆  
R11.1.3



教育長  
職務代理者  
丸木 清之  
(任期)  
R4.10.1  
┆  
R8.9.30



教育委員  
岡崎 真理  
(任期)  
R6.10.1  
┆  
R10.9.30



教育委員  
瀬山 亜佳子  
(任期)  
R5.10.1  
┆  
R9.9.30



教育委員  
寄崎 順子  
(任期)  
R7.10.1  
┆  
R11.9.30

## 毛呂山町の概況

### 位置と地勢

毛呂山町は埼玉県の南西部に位置し、東は坂戸市、南は日高市、西は飯能市、北は越生町・鳩山町に隣接しています。町域は東西約9km・南北約7.5kmと東西に長く、34.07km<sup>2</sup>の面積を有し、都心から50km圏で町の中央をJR八高線と東武越生線が走り、人々の輸送を円滑にしています。

町のほぼ中央にあたる毛呂本郷から宿谷を結ぶ八王子構造線が、東を肥沃な関東平野、西を秩父山地に分けており、日高市との境に沿って東に向けて毛呂山丘陵が突出し、町の北部に岩殿丘陵の一部が張り出しています。

町の中央に位置する小高い丘は、出雲伊波比神社がどっしり構える臥竜山。この丘は地質学的にも珍しい分離丘陵で、西側の秩父山地の先端が八王子構造線の断層によって切り離されてできた丘ではないかと言われています。このように毛呂山町は台地に恵まれ、越辺川や毛呂川を始めとする数本の清流が織り込まれた山すその町です。

### 沿革

出雲伊波比神社はすでに奈良時代には登場し、大規模な古墳群も発見されていることから、町の歴史はかなり古いものと思われます。明治22年、毛呂村、滝野入村、川角村が発足。明治24年滝野入村が村名を山根村に変更。昭和14年、毛呂村と山根村が合併して、旧毛呂山町となり、昭和30年4月1日、旧毛呂山町と川角村が合併して、現在の毛呂山町が誕生し令和7年4月に合併70周年を迎えました。当時11,000人余りだった人口は、令和8年5月1日現在31,533人となっています。

# 第4期 毛呂山町教育振興基本計画

令和8年度～令和12年度  
(基本理念・基本方針・基本目標について)



## 毛呂山町教育振興基本計画とは

- ◆ 教育基本法に基づく、本町の教育振興基本計画です。
- ◆ 町政全般の総合的な計画である「第五次毛呂山町総合振興計画」を踏まえた、教育分野の計画です。
- ◆ 中長期的な視点に立って策定した計画です。

## 基本理念

### みんなで育てよう毛呂山の未来！

社会変化への対応が差し迫っている今、知識・技術の習得だけでなく、未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力を身に付けることが重要です。また、学校教育だけでなく社会人の学び直しをはじめとする生涯学習の必要性が高まっていることから、基本理念は第1期からの計画を継承し、第4期でも「みんなで育てよう毛呂山の未来！」として教育の振興を図ります。

## 基本方針

基本理念を踏まえて、基本目標の実現に向け施策を実施していくに当たっては、次の3つの方針を重視して取り組みます。

### 未来を拓く学校づくり

「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針」に基づき、義務教育9年間を一体のものとし、小中学校で連続性と発展性をもって子どもたちを育成します。

### 地域を担う人づくり

継続的に学習に取り組むことができる体制をつくり、多様な学習内容や学習機会を充実することにより、地域を担う人を生み出します。

### 学校・家庭・地域のきずなづくり

コミュニティ・スクールを推進することで、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めるとともに、郷土への愛着心を育み、学校、家庭、地域のきずなを深めます。

## 7つの基本目標

本計画の基本理念を踏まえ、今後5年間に取り組む教育行政の7つの基本目標を示します。

**基本目標Ⅰ** 確かな学力の定着と自立する力の育成

**基本目標Ⅱ** 豊かな心と健やかな体の育成

**基本目標Ⅲ** 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

**基本目標Ⅳ** 家庭・地域の教育力の向上

**基本目標Ⅴ** 生涯を通じた多様な学習活動の振興

**基本目標Ⅵ** 生涯スポーツの振興

**基本目標Ⅶ** 文化資源の保存継承と郷土を愛する心の育成

# 令和8年度 毛呂山町教育行政重点施策

## 基本理念

みんなで育てよう毛呂山の未来！

## 基本方針

- ◆未来を拓く学校づくり
- ◆地域を担う人づくり
- ◆学校・家庭・地域のきずなづくり

「夢をもち世界にはばたく毛呂山の子ども」の育成  
～小中一貫教育及びコミュニティ・スクールの推進～



毛呂山町教育委員会



# 基本目標



## 基本目標Ⅰ 確かな学力の定着と自立する力の育成

- 1 「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針」の実現
- 2 一人一人の学力を伸ばす教育の推進
- 3 進路指導・キャリア教育の推進
- 4 異校種間連携の推進

## 基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

- 1 豊かな心を育む教育の推進
- 2 いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実
- 3 不登校対策の充実
- 4 体力の向上と学校体育活動の推進
- 5 食育の推進と学校給食の充実
- 6 人権を尊重した教育の推進

## 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

- 1 教職員の資質の向上
- 2 安全・安心な学校づくりの推進
- 3 教育環境の整備・充実

## 基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

- 1 家庭教育支援体制の充実
- 2 放課後を活用した児童生徒への学習支援
- 3 地域と連携、協働した教育の推進

## 基本目標Ⅴ 生涯を通じた多様な学習活動の振興

- 1 生涯を通じた学習推進体制の整備・充実
- 2 生涯を通じた学習機会の提供と学習活動の支援
- 3 人材の育成と学習成果の地域還元
- 4 地域と連携した青少年育成活動の推進
- 5 人権教育の推進

## 基本目標Ⅵ 生涯スポーツの振興

- 1 生涯スポーツの普及促進
- 2 スポーツ団体・人材の育成と活用
- 3 体育施設の整備と利用促進

## 基本目標Ⅶ 文化資源の保存継承と郷土を愛する心の育成

- 1 文化財保存活用事業の推進
- 2 資料館による学習機会の充実と住民との協働事業の推進
- 3 学校教育との連携による「ふるさと学」の推進
- 4 史跡鎌倉街道上道の保存活用

## 基本目標Ⅰ 確かな学力の定着と自立する力の育成

未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクトのもと、基本理念を「地域をつなぎ『いのち』輝く日本一の学校づくり」として、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進し、夢をもち世界にはばたく毛呂山の子どもを育成します。

確かな学力、豊かな心、たくましく生きる健康・体力を育成し、自立する力を培う教育を推進します。

### 1 「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針」の実現

各中学校区、校長のリーダーシップのもと、小・中学校教職員が一体となり、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進します。

学習指導要領の趣旨に則り、「確かな学力」の育成を目指す教育を推進します。

- ◆「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト」研究事業の実施（小中一貫教育の研究・教育課程の研究・授業研究会の開催）
- ◆小・中学校教員による乗り入れ授業の実施
- ◆小・中学生の合同行事の実施
- ◆小学生同士の交流活動の充実
- ◆ゲストティーチャーを招いた体験的な学習の推進
- ◆小中一貫教育・コミュニティ・スクールの周知（ゆずの里通信等）

（担当：学校教育課）

### 2 一人一人の学力を伸ばす教育の推進

児童生徒の理解度に合わせた授業を実施し、一人一人の学力を伸ばす教育の充実を図ります。

（予算22,223千円）

- ◆学力向上対策委員会の開催と特色ある学校教育の実現に向けての研究
- ◆全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査等の実施と結果の分析・活用
- ◆学力向上支援員・小学校理科支援員の配置
- ◆AIドリル・学習支援ソフトの活用
- ◆小学生ステップアップ教室の開催
- ◆中学生学力アップ教室の開催
- ◆外国語指導助手（ALT）の配置による外国語教育の充実
- ◆小・中学生英語検定受験料補助事業

（担当：学校教育課・教育センター）

### 3 進路指導・キャリア教育の推進

児童生徒が地域社会での職業体験や勤労体験、また、学習活動や諸活動へ積極的に関わり、自身自身の力で進路選択ができるように指導・支援します。

(予算23,617千円)

- ◆小学生国内交流事業の実施
- ◆中学生海外留学事業の実施
- ◆中学生社会体験チャレンジ事業の実施
- ◆子ども議会の開催
- ◆小・中学校の9年間を見通した進路指導・キャリア教育の指導計画の整備
- ◆キャリア・パスポートなどを活用した発達段階に応じたキャリア教育の推進
- ◆町立中学校修学旅行費補助事業の実施

(担当：学校教育課・教育センター)

### 4 異校種間連携の推進

小中一貫教育を推進し、いわゆる「中1ギャップ」等の学校課題に対応するとともに、幼稚園・保育園・認定こども園等との連携により、「小1プロブレム」の解消を目指します。

幼稚園・保育園・認定こども園等と小学校と中学校の連携を推進し、なめらかな接続を目指します。

- ◆幼・保・小・中連絡協議会の開催（テーマに沿った研究・公開授業・公開保育）
- ◆毛呂山町接続期プログラムの活用
- ◆幼保小の架け橋プログラムの作成

(担当：教育センター)

### 5 多様なニーズに対応した教育の推進（特別支援教育・日本語指導）

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を推進します。

(予算25,977千円)

- ◆就学相談の実施と就学支援委員会の実施
- ◆個別検査の実施
- ◆幼稚園・保育園・認定こども園・保健センター・こども家庭センターや特別支援学校との連携
- ◆教職員の資質向上のための研修会の実施
- ◆学校支援員の配置
- ◆就学奨励費支給事業の推進
- ◆特別支援学校給食費補助事業の実施
- ◆小中学校入学準備補助事業の実施
- ◆教育支援センター指導員による日本語指導の実施

(担当：学校教育課・教育センター)

## 基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

児童生徒が心身ともに健全に育つことができるよう、道徳教育、人権教育、体験的活動、食育等の充実を図ります。また、コミュニティ・スクールの機能を生かし、家庭・地域と連携し、児童生徒一人一人の気持ちに寄り添った指導を行い、いじめ・不登校対策の充実を図ります。

### 1 豊かな心を育む教育の推進

豊かな人間性を育むために、家庭・地域と連携し、学校の教育活動全般を通じて、道徳教育や様々な体験的活動の充実を図ります。

- ◆体験活動の充実（社会奉仕・福祉体験活動・職場体験・自然体験学習・防災訓練等）
- ◆「特別の教科 道徳」の授業の充実
- ◆「いのちの教育」の充実（医療・福祉・防災等との連携）
- ◆埼玉医科大学、城西大学の学生との交流授業の実施
- ◆規律ある態度の育成
- ◆読書活動の推進（町立図書館との連携）

（担当：学校教育課・教育センター）

### 2 いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実

学校・家庭・地域・関係機関の連携を深め、児童生徒一人一人の気持ちに寄り添った指導で、児童生徒へのサポート体制を強化します。「いじめ防止対策推進法」や、町の「いじめ防止基本方針」に基づいた、定期的なアンケート調査や個人面談を実施し、いじめ防止、早期発見、早期対応のための体制を堅持します。

（予算2,300千円）

- ◆生徒指導主任研修会の実施
- ◆非行防止教室・薬物乱用防止教室の実施
- ◆情報モラル教育の実施
- ◆スクールカウンセラーの各学校への派遣
- ◆スクールソーシャルワーカー（教育センター）の配置及び各校への派遣
- ◆専任相談員による電話・来所相談の実施
- ◆いじめ問題対策連絡協議会の開催（年2回）
- ◆いじめ防止対策推進委員会の開催（年1回）
- ◆「いじめ防止基本方針」に基づいた「重大事態」の発生に伴う対応マニュアルの周知徹底

（担当：学校教育課・教育センター）

### 3 不登校対策の充実

小・中学校、関係機関等が連携し、不登校対策に組織的に取り組みます。不登校児童生徒への支援には、一人一人の児童生徒や保護者などの状況を把握し、校内外での相談体制の整備、スクールソーシャルワーカーや教育センター職員による家庭訪問、教育支援センターへの通室などによる学習機会の提供など、積極的な取組を継続し実施します。

(予算11,713千円)

- ◆不登校対策委員会の開催及び事例研修会の実施
- ◆スクールカウンセラー（各小・中学校）の配置、不登校対策相談員（各中学校）、専任相談員（教育センター）の配置による教育相談体制の充実
- ◆教育支援センターの活用
- ◆小学校校内教育支援センターの活用
- ◆登校が難しい児童生徒に対して、リモートによる学習機会を提供
- ◆小中一貫教育の取組（乗り入れ授業、中学校体験入学など）を通じた、中学校入学への不安の軽減
- ◆特別活動の推進
- ◆教育・心理検査委託事業

(担当：学校教育課・教育センター)

### 4 体力の向上と学校体育活動の推進

学校の教育活動全体を通して、児童生徒の体力の向上に取り組みます。

(予算1,351千円)

- ◆体力向上推進委員会の開催と体育授業研究会の充実
- ◆部活動外部指導員の配置による生徒の技術及び体力の向上（中学校）
- ◆部活動地域展開の推進
- ◆水泳指導業務委託事業

(担当：学校教育課)



## 5 食育の推進と学校給食の充実

知・徳・体の基盤となる食育を推進するために、学校給食を活用した食育を実施するとともに、安全・安心な学校給食を実施します。また、子どもの健康増進・食育の推進を図るため、小中学校における健康・食育指導を実施します。

(予算89,953千円)

- ◆栄養教諭による食に関する指導の実施
- ◆子どもの食育・健康教育の推進（早寝、早起き、朝ごはん）
- ◆調理・配送業務の民間業者への委託
- ◆安全・安心な給食を提供するための衛生管理・食材の安全確保の徹底
- ◆地場産物を活用した特色ある学校給食の実施
- ◆学校給食調理施設の維持・管理
- ◆朝ごはん体験教室の実施
- ◆食物アレルギー対策の充実
- ◆学校給食代替食補助事業の実施

(担当：学校教育課・学校給食センター)

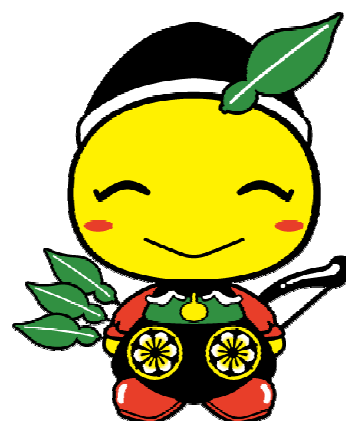
## 6 人権を尊重した教育の推進

様々な人権問題についての理解と課題解決を学校の教育活動の重要なテーマとして位置づけ、教育活動を推進します。

(予算55千円)

- ◆教職員対象人権教育6校合同講演会の実施
- ◆人権教育指導者研修会（現地研修）の実施
- ◆各学校での人権教育の推進に向けた様々な取組の実施
- ◆人権感覚育成プログラムを活用した授業の実施
- ◆人権教育授業研究会の実施

(担当：学校教育課・教育センター)



## 基本目標Ⅲ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

教職員の資質・能力の向上を図り、優れた指導力と使命感を兼ね備えた教職員を育成するため、教職員の経験年数や年齢等に応じた研修を行い学校の教育力を高めます。

安全・安心で快適な教育環境を確保するための施設及び設備の維持改修と小中一貫教育を推進するための施設・環境整備を進めてまいります。

### 1 教職員の資質の向上

適切な研修や専門研修などを行い、教職員の資質・能力を向上させるとともに、「目指す学校像」の下に一貫した学校運営を行います。

(予算14,268千円)

- ◆学習指導要領に対応した授業研究会の開催
- ◆初任者、2・3年経験者、若手・中堅教員、臨時的任用教員対象の授業研究会の開催
- ◆人事評価制度を活かした、全教職員の学校運営への参画の推進
- ◆学校における働き方改革の推進（教員業務支援員の効果的な活用等）
- ◆教職員の倫理観の向上（不祥事防止研修プログラムの活用等）

(担当：学校教育課・教育センター)

### 2 安全・安心な学校づくりの推進

児童生徒の安全と安心を確保するため学校安全計画を整備し、適切に実施するとともに、学校・家庭・地域が連携し、児童生徒が自ら危機対応能力の基礎を身につけることができる教育を推進します。

- ◆危機管理マニュアルの見直し、周知と避難訓練（地域合同避難訓練等）及び西入間警察署と連携した交通安全教室の実施と充実
- ◆AED使用に係る研修及び授業の実施
- ◆スクールガードや地域学校協働活動ボランティア等による登下校時の見守り
- ◆小中合同一斉下校、小中合同引き渡し訓練等の実施

(担当：学校教育課)

### 3 教育環境の整備・充実

児童生徒が安全で安心して過ごせるよう「毛呂山町立小・中学校編成計画」等に基づき校舎等の学校施設を計画的に改修し、快適な学習環境づくりを進めるとともに、GIGAスクール構想による1人1台端末の更新を行い、多様な学びを支えるICT環境の充実に努めます。

(予算110,848千円)

- ◆毛呂山中学校区の小中一貫校整備のための毛呂山小学校大規模改修工事設計業務委託の実施
- ◆GIGAスクール構想「1人1台端末」の計画的な更新によるICT環境の充実
- ◆学校施設の維持・管理

(担当：教育総務課)

## 基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

家庭・地域の教育力の向上のため、地域教育支援体制の充実を図り、放課後の児童への学習支援を行います。また、地域学校協働活動の推進・充実に努めます。

### 1 家庭教育支援体制の充実

地域住民による学校支援活動を積極的に推進し、教育力の向上を図るとともに、学校・家庭・地域の絆を深めます。

(予算343千円)

- ◆「やる気アップデー（毎月第一日曜日）」の充実
- ◆家庭啓発パンフレット「のびよ！毛呂山っ子」等による家庭教育の定着を推進
- ◆子どもと大人と一緒に遊び・学ぶことで絆を深めるキッズチャレンジ事業の実施

(担当：学校教育課・生涯学習課)

### 2 放課後を活用した児童生徒への学習支援

児童生徒の学習支援のため、学習の専門家による学習教室を実施します。

ICTを活用した学習機会を提供し、児童生徒が学習の楽しさを実感し、家庭でも意欲的に学習に取り組む力を育成します。

(予算16,841千円)

- ◆小学校の余裕教室において民間事業者と連携した「小学校ステップアップ教室」の開催
- ◆中学生学力アップ教室の開催
- ◆A Iドリルの家庭学習での活用

(担当：学校教育課)

### 3 地域と連携、協働した教育の推進

学校応援団、地域学校協働活動ボランティアやゲストティーチャーなど、地域学校協働活動推進員を中心に、地域住民が学校を支援する取り組みと学校を核として、地域コミュニティの活性化を図る取り組みを地域学校協働活動と称し、その活動を推進し充実に努めます。

(予算530千円)

- ◆中学校区を単位とした「学校運営協議会」の開催
- ◆学校と地域住民の連絡調整を担う「地域学校協働活動推進員」の配置
- ◆地域学校協働活動の人材確保・充実  
(学校応援団、地域学校協働活動ボランティアやゲストティーチャーなど)
- ◆地域学校協働活動の拠点となるコミュニティ・ルームの充実

(担当：学校教育課・生涯学習課)

## 基本目標Ⅴ 生涯を通じた多様な学習活動の振興

生涯学習推進体制の整備・充実を図り、学習機会の提供と学習活動の支援に努め、人材育成と学習成果の地域還元の仕組みづくりを進めます。また、青少年育成活動や人権教育を推進します。

### 1 生涯を通じた学習推進体制の整備・充実

社会の変化に対応し、関係部署や団体等と連携し、生涯学習体制の整備・充実に努めます。

(予算57,988千円)

- ◆社会教育委員会議の開催
- ◆近隣の大学などとの協働による「こども大学にしているま」の開催
- ◆毛呂山町立図書館管理運営委託
- ◆電子図書館の維持・管理
- ◆社会教育施設の維持・管理

(担当：生涯学習課・公民館・図書館・歴史民俗資料館)

### 2 生涯を通じた学習機会の提供と学習活動の支援

町民が、心身ともに健康的な生活を送れるように、いつでも必要な時に自由に学ぶことのできる場所や機会の提供を行い、町民の学習活動を支援します。また、学習機会の提供に努め、町民の学習活動を支援します。

(予算81千円)

- ◆児童生徒の保護者等を対象とした「親の学習講座」の開催
- ◆心豊かな生活を送ることを目的とした「いきいき大学もろやま」の開催
- ◆町ホームページ等での学習情報提供の充実
- ◆寿大学の開催

(担当：生涯学習課・公民館・図書館)

### 3 人材の育成と学習成果の地域還元

学習成果の発表機会を提供し、学習成果を地域に還元する発表の場を拡充します。

(予算1,398千円)

- ◆芸能音楽祭の開催
- ◆公民館まつり・ふれあい文化祭の開催
- ◆文化関係団体の支援
- ◆文芸もろやまの発行
- ◆地域学校協働活動における人材活用
- ◆ボランティア人材バンクの活用の推進

(担当：生涯学習課・公民館)

#### 4 地域と連携した青少年育成活動の推進

従来からの各種団体による青少年活動への支援に加え、インターネット上の有害情報への対応などに取り組みます。

(予算666千円)

- ◆青少年育成団体の支援
- ◆彩の国21世紀郷土かるた大会の開催
- ◆インターネットの危険性の啓発

(担当：生涯学習課)

#### 5 人権教育の推進

多様化する人権課題に対応するため、人権に関わる学習を推進し、人権意識を高め、差別や偏見のない社会を目指します。

(予算337千円)

- ◆人権教育指導者養成研修事業の開催
- ◆生涯学習人権教育講座の開催
- ◆人権教育推進協議会の支援

(担当：生涯学習課)



健康の保持・増進や体力づくり、さらにはコミュニティ意識の醸成のため、誰もが楽しく参加できるようなイベントやスポーツをする機会の提供に努めます。

### 1 生涯スポーツの普及促進

スポーツを通して町民の健康及び健康意識の増進を図り、誰もが気軽に参加できる場としてスポーツフェスタもろやまや、身近で気軽にスポーツを楽しむことができる軽スポーツ大会等を開催し、生涯スポーツの普及促進に努めます。また、健幸づくりのまちの推進を図るため、町内健幸ウォーキング事業等を実施し、運動機会の提供に努めます。

(予算5,577千円)

- ◆スポーツフェスタもろやま
- ◆軽スポーツ大会・教室、出前講座
- ◆バレーボール交流大会
- ◆名球会メモリアルカップ毛呂山少年野球大会
- ◆屋外遊具・変形自転車貸出事業
- ◆運動習慣の定着を目指す、町内健幸ウォーキング事業の実施
- ◆「桂木ゆず」の旬の時期に歩いて健幸を目指す、ゆずの里健幸ウォーク事業の実施

(担当：生涯学習課)

### 2 スポーツ団体・人材の育成と活用

毛呂山町スポーツ協会等スポーツ団体との連携を図るとともに、スポーツ推進委員等指導者の資質向上のため、研修会への参加を促進します。また、町民のスポーツ活動の機会を支える指導者、協力者の発掘・育成・活用に努めます。

(予算2,828千円)

- ◆各種スポーツ団体等への補助
- ◆指導者の資質向上

(担当：生涯学習課)

### 3 体育施設の整備と利用促進

利用者が安心して利用でき、気軽にスポーツに親しめるよう、指定管理者と連携し、スポーツ・レクリエーション施設の計画的な維持・改修及び利用促進に努めます。

(予算53,180千円)

- ◆毛呂山総合公園及び毛呂山町体育施設管理運営委託
- ◆大類グラウンド駐車場区画線修繕工事

(担当：生涯学習課)

## 基本目標Ⅶ 文化資源の保存継承と郷土を愛する心の育成

先人から受け継がれてきた有形・無形、指定・無指定の豊富な文化資源の保存活用に取り組み、文化財保護意識の啓発に努めます。歴史民俗資料館の学習機会の充実のため、住民との協働、さまざまな団体との連携を進めます。学校教育と連携し、郷土資料を活用した体系的な郷土学習「ふるさと学」を推進し、児童生徒の郷土愛の醸成に努めます。また、国指定史跡鎌倉街道上道の保存活用事業を進めます。

### 1 文化財保存活用事業の推進

指定文化財の保存管理のほか、先人から受け継がれてきた自然や風習などの有形・無形の無指定の文化資源を総合的に把握するための調査を進めます。また、埋蔵文化財保護体制の整備、流鏝馬や獅子舞、お囃子に親しむ機会の創出と継承の支援に努めます。

(予算18,575千円)

- ◆文化財調査及び文化財パトロールの実施
- ◆埋蔵文化財の調査
- ◆流鏝馬の調査研究及び流鏝馬伝承調査報告書を活用した普及事業の実施
- ◆無形民俗文化財の保存継承に対する支援
- ◆伝統文化親子教室

(担当：歴史民俗資料館)

### 2 資料館による学習機会の充実と住民との協働事業の推進

収蔵資料を適切に保管し、資料の調査研究を進め、展示事業や講座・教室、体験学習会などを通じて成果を公開します。当館サポーターやサークルによる技術伝承、学習会を支援するほか、さまざまな団体と協働事業を進めることで、学習機会の充実を図ります。

(予算6,051千円)

- ◆収蔵資料の整備
- ◆特別展・企画展等の展示活動
- ◆講座・体験学習会の開催
- ◆資料館サポーターやサークル、大学などと連携した協働事業の実施

(担当：歴史民俗資料館)

### 3 学校教育との連携による「ふるさと学」の推進

学校教育と連携し、小中一貫教育の中で郷土資料や文化資源を活用し、体系的に学ぶ郷土学習「ふるさと学」を普及し、児童生徒の郷土に対する誇り、愛着を育みます。また、歴史・文化を伝え、継承する人材育成に取り組みます。

(予算241千円)

- ◆郷土資料や文化資源を活用した郷土学習「ふるさと学」の普及
- ◆社会科研究展、社会科研究発表会の充実
- ◆郷土学習教材の電子図書館での公開

(担当：歴史民俗資料館)

#### 4 史跡鎌倉街道上道の保存活用

国指定史跡鎌倉街道上道について、適切な保存・管理及び効果的な整備・活用の中長期的な方針を定める保存活用計画を策定し、国の認定を目指します。また、学術調査を進め、未解明部分を明らかにし、広く成果を公開します。史跡の価値の普及や保全は、資料館サポーター制度を活かし、町民との協働により進めます。

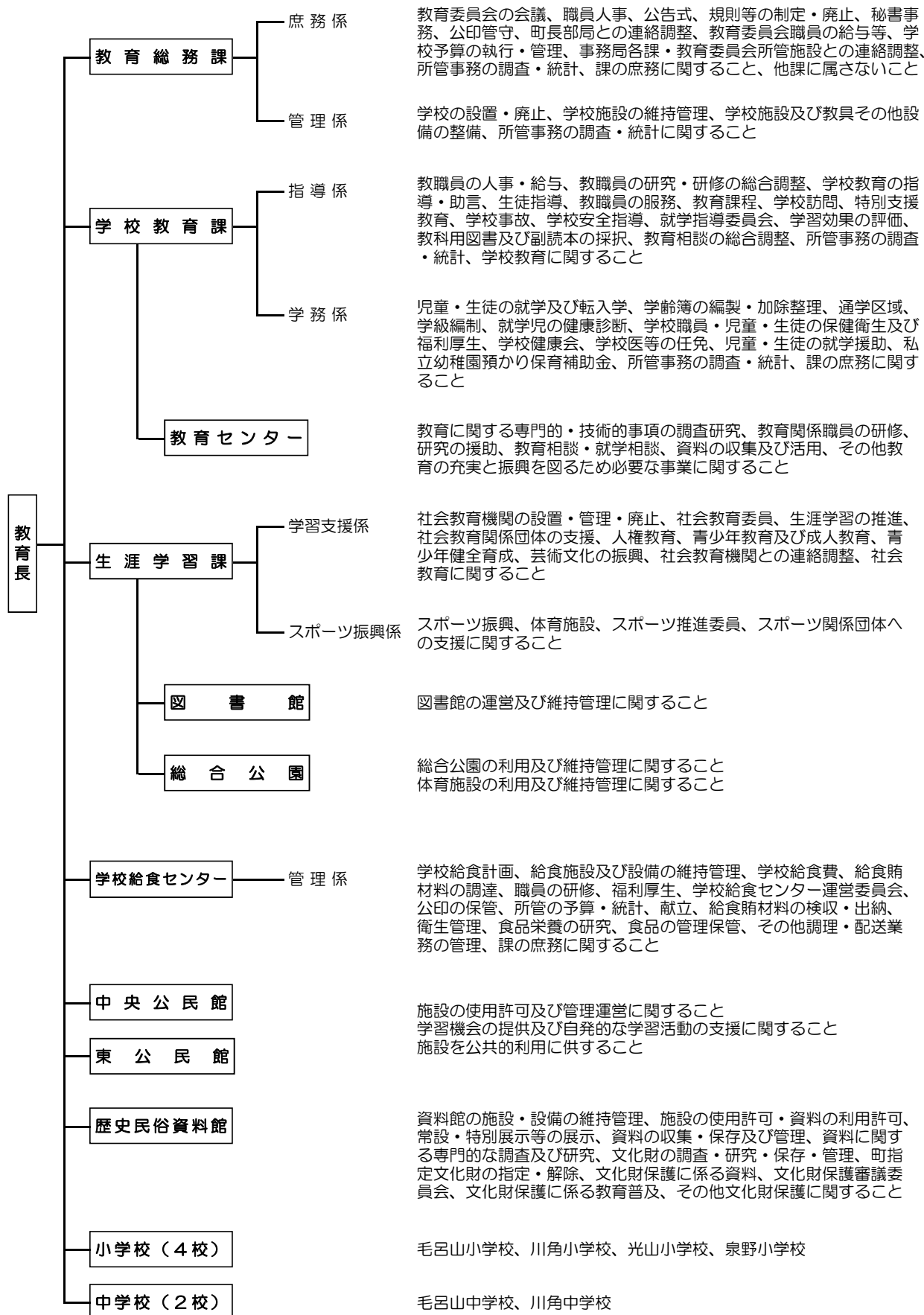
(予算795千円)

- ◆鎌倉街道上道保存活用計画の策定及び国の認定
- ◆常設展示「史跡ガイダンスコーナー」の充実
- ◆史跡の説明板設置
- ◆ボランティアガイドによる史跡ガイドツアー
- ◆「鎌倉街道と古墳の森」保存活用事業の実施
- ◆学術調査の実施と成果の公開

(担当：歴史民俗資料館)



## 事務局組織の主な事務と教育機関

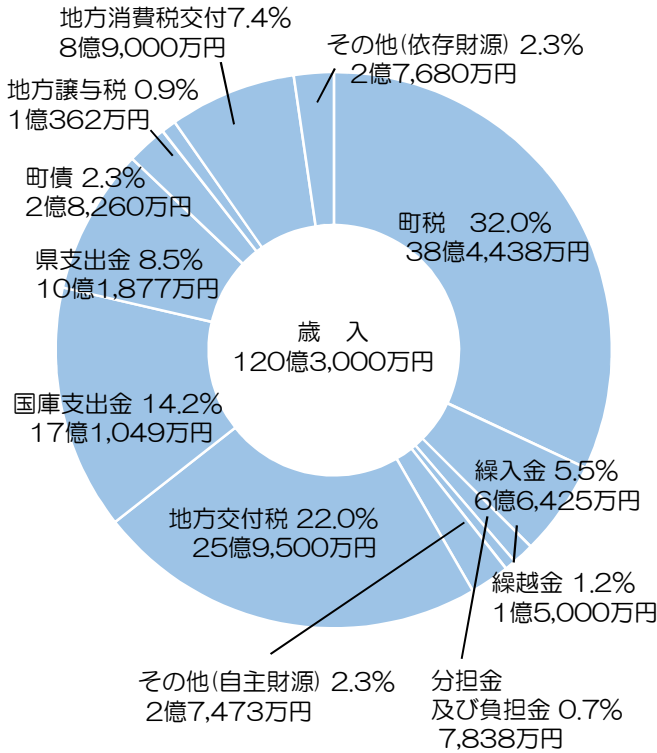


# 教育財政

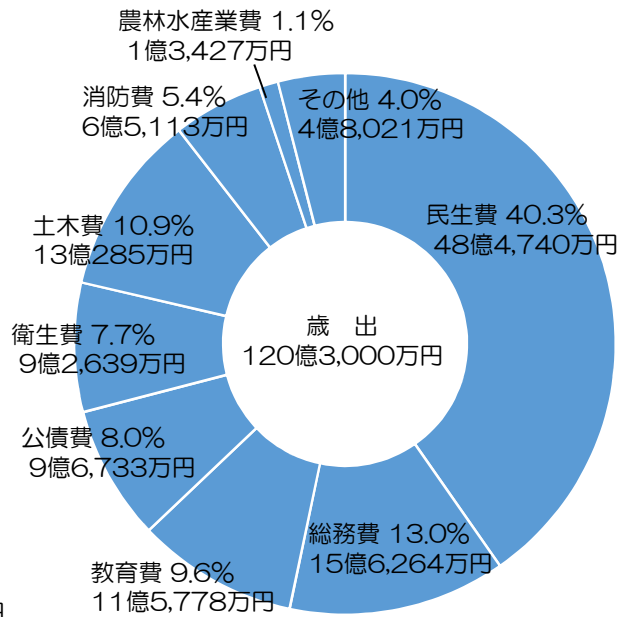
令和8年度の一般会計予算額は、120億3,000万円で、前年度と比較すると2億2,400万円、約1.9%の増額となっています。

このうち教育費予算額は、総額11億5,778万円で、一般会計予算額の約9.6%を占め、前年度対比では、5億2,445万、約31.2%の減額となっています。

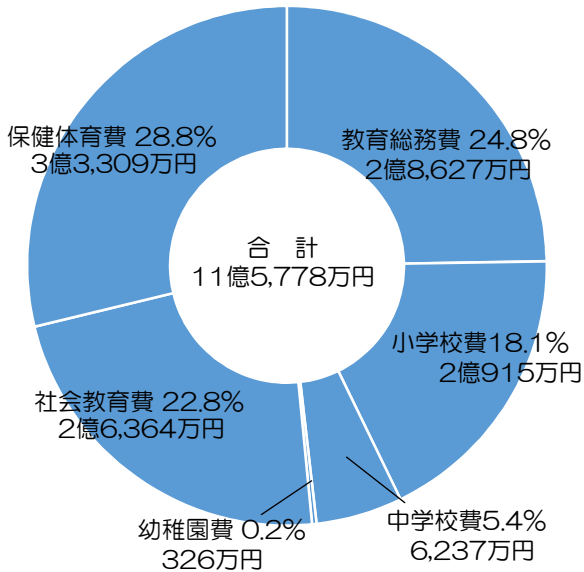
令和8年度 毛呂山町一般会計歳入



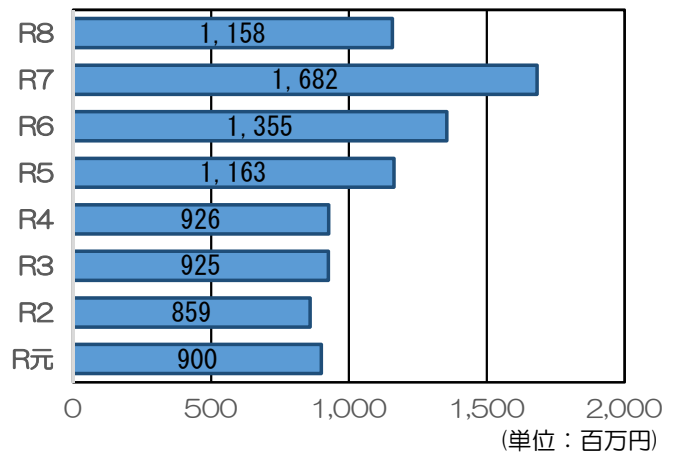
令和8年度 毛呂山町一般会計歳出



令和8年度 教育費目的別当初予算の構成



教育費当初予算の推移  
(年度)



## 令和8年度並びに令和7年度教育費当初予算（歳出）

（単位：千円・％）

年 度		R8年度 当初予算	R7年度 当初予算	比較増減額	対前年度比較
一 般 会 計 総 額		12,030,000	11,806,000	224,000	1.90
教 育 費 総 額		1,157,775	1,682,230	△ 524,455	△ 31.18
項 目					
1 教育総務費		286,265	254,689	31,576	12.40
	1 教育委員会費	1,471	1,522	△ 51	△ 3.35
	2 事務局費	274,266	245,146	29,120	11.88
	3 教育センター費	10,528	8,021	2,507	31.26
2 小学校費		209,152	109,687	99,465	90.68
	1 学校管理費	204,866	105,021	99,845	95.07
	2 教育振興費	4,286	4,666	△ 380	△ 8.14
3 中学校費		62,373	107,378	△ 45,005	△ 41.91
	1 学校管理費	58,770	102,812	△ 44,042	△ 42.84
	2 教育振興費	3,603	4,566	△ 963	△ 21.09
4 幼稚園費		3,259	3,300	△ 41	△ 1.24
	1 教育振興費	3,259	3,300	△ 41	△ 1.24
5 社会教育費		263,635	537,076	△ 273,441	△ 50.91
	1 社会教育総務費	163,508	162,079	1,429	0.88
	2 公民館費	23,359	114,457	△ 91,098	△ 79.59
	3 図書館費	63,768	63,857	△ 89	△ 0.14
	4 歴史民俗資料館費	13,000	196,683	△ 183,683	△ 93.39
6 保健体育費		333,091	670,100	△ 337,009	△ 50.29
	1 保健体育総務費	9,602	8,470	1,132	13.36
	2 体育施設費	57,400	370,020	△ 312,620	△ 84.49
	3 学校給食費	266,089	291,610	△ 25,521	△ 8.75

### 児童 1 人当たりの教育費

	児童数	小学校費（児童 1 人当たり）		
		学校管理費	教育振興費	合計
R2年度	1,291人	124,122円	4,913円	129,035円
R3年度	1,214人	97,670円	10,718円	108,388円
R4年度	1,187人	79,157円	3,838円	82,995円
R5年度	1,131人	118,552円	10,004円	128,556円
R6年度	1,081人	279,237円	3,343円	282,580円
R7年度	1,012人	103,776円	4,611円	108,387円
R8年度	936人	218,874円	4,579円	223,453円

（R7年度及び8年度は当初予算額）

### 生徒 1 人当たりの教育費

	生徒数	中学校費（生徒 1 人当たり）		
		学校管理費	教育振興費	合計
R2年度	754人	117,284円	11,603円	128,887円
R3年度	694人	72,190円	21,388円	93,578円
R4年度	691人	77,212円	10,376円	87,588円
R5年度	670人	143,939円	22,202円	166,141円
R6年度	666人	220,444円	8,898円	229,342円
R7年度	606人	169,657円	7,535円	177,192円
R8年度	593人	99,106円	6,076円	105,182円

（R7年度及び8年度は当初予算額）

## 学 校 施 設 の 現 況

### 小学校

学校名	校舎 (㎡)			屋内運動場 (㎡)		校地 (㎡)				プール
	鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	計	体育館	武道場	建物敷地	運動場	借地	計	
毛呂山小	4,787	228	5,015	944	—	8,863	7,494	—	16,357	6㉿-λ25m
川角小	4,908	65	4,973	939	—	9,923	7,149	—	17,072	6㉿-λ25m
光山小	5,809	102	5,911	944	—	10,090	12,054	—	22,144	6㉿-λ25m
泉野小	4,710	708	5,418	941	—	12,285	12,088	—	24,373	6㉿-λ25m

### 中学校

学校名	校舎 (㎡)			屋内運動場 (㎡)		校地 (㎡)				プール
	鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	計	体育館	武道場	建物敷地	運動場	借地	計	
毛呂山中	5,020	77	5,097	1,698	389	10,679	12,690	—	23,369	7㉿-λ25m
川角中	5,936	165	6,101	1,345	397	14,070	19,054	1,763	34,887	7㉿-λ25m

令和8年5月1日現在、公立学校施設台帳より

学校別児童・生徒数と今後の見込み

各年度5月1日現在

年度	小学校					中学校		
	毛呂山	川 角	光 山	泉 野	計	毛呂山	川 角	計
H04	746	527	744	718	2,735	837	803	1,640
H05	740	513	730	681	2,664	783	722	1,505
H06	711	482	702	662	2,557	786	737	1,523
H07	683	498	674	626	2,481	766	679	1,445
H08	644	466	661	585	2,356	774	673	1,447
H09	608	481	624	563	2,276	727	603	1,330
H10	607	463	598	514	2,182	704	609	1,313
H11	583	432	578	498	2,091	656	567	1,223
H12	565	415	571	494	2,045	639	542	1,181
H13	601	388	556	505	2,050	598	513	1,111
H14	569	381	532	511	1,993	558	490	1,048
H15	541	386	510	512	1,949	528	486	1,014
H16	512	384	467	567	1,930	507	468	975
H17	468	375	456	596	1,895	503	448	951
H18	475	362	427	591	1,855	507	436	943
H19	447	360	410	616	1,833	526	421	947
H20	459	386	395	625	1,865	513	425	938
H21	487	378	386	622	1,873	497	421	918
H22	474	373	384	608	1,839	508	401	909
H23	477	394	353	587	1,811	509	385	894
H24	483	393	340	554	1,770	540	368	908
H25	474	410	321	522	1,727	516	357	873
H26	466	401	302	504	1,673	517	377	894
H27	441	400	282	462	1,585	501	378	879
H28	418	410	272	454	1,554	490	399	889
H29	397	401	250	439	1,487	476	371	847
H30	370	403	239	414	1,426	458	341	799
R元	360	388	225	375	1,348	440	331	771
R2	352	385	213	341	1,291	433	321	754
R3	331	369	218	324	1,242	401	309	710
R4	326	360	214	287	1,187	399	292	691
R5	331	338	216	246	1,131	388	282	670
R6	323	321	214	223	1,081	374	292	666
R7	319	285	197	211	1,012	321	285	606

今後の見込み

年度	小学校					中学校		
	毛呂山	川 角	光 山	泉 野	計	毛呂山	川 角	計
R8	303	249	190	199	941	301	293	594
R9	292	228	176	199	895	282	278	560
R10	282	198	166	181	827	284	270	554
R11	281	176	148	173	778	263	249	512
R12	274	153	136	181	744	245	234	479
R13	260	146	136	183	725	222	188	410

## 学校教育

第4期毛呂山町教育振興基本計画「みんなで育てよう毛呂山の未来！」の理念に基づき、①確かな学力の定着と自立する力の育成、②豊かな心と健やかな体の育成、③質の高い学校教育を推進するための環境の充実、④家庭・地域の教育力の向上を基本目標として各施策を実施しています。

特に、毛呂山町では、「小中一貫教育推進事業」を展開し、学習指導要領で示された、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成のため、各中学校区において9年間を見通した学力向上の取組を推進しています。各学校は校長のリーダーシップのもと教育活動の工夫改善を推進しながら、次代を担い、たくましく生きる児童生徒の育成に向け、教職員、保護者、地域住民との連携強化による学校運営を行っています。

### 学習指導要領

小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から完全実施となった学習指導要領では、「生きる力」の育成という目標を継続する一方で、社会の変化を見据え、①学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間力等」、②実際の社会や社会の中で生きて働く「知識及び技能」、③未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の3つの力をバランスよく育成することを目指しています。これに伴い小学校では、「特別の教科道徳」、3・4年生の「外国語活動」、5・6年生の「外国語」、中学校では「特別の教科道徳」が新設されました。

各学校では、「何を学ぶか」だけでなく「何ができるようになるか」を目指した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等の取組を行っています。



小中一貫教育合同研修会（光山小学校）

「体育 陸上教室」中学校教員、陸上部生徒

### 未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクトの推進

地域社会の現状として、高度情報化・国際化・少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、町の人口減少問題、小学校施設の老朽化等の課題から、学校教育環境等検討委員会（平成28年度設置）の検討結果を受け、平成30年度より「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト」を推進しています。基本理念「地域をつなぎ『いのち』輝く日本一の学校をめざして」を掲げ、夢をもち世界にはばたく毛呂山の子どもを育成します。

本町は「医療と福祉の町」です。町内や近隣の大学との連携を図り、「いのち」の教育を推進します。特に他に類を見ない本プロジェクトの目玉としては、「官・民・学が連携し、地域の豊かな教育環境を活用し、児童生徒を育成する」ということです。本プロジェクトには町民と学校との関わりが重要となります。町民一人ひ

## □ 学校教育

とりが学校を通して児童生徒と関わることで、世代間交流による地域コミュニティの広がりが生まれ、学校教育へ参画することで生きがいをもつこともできます。児童生徒には、学力の向上につながるだけでなく、思いやりの心や感謝の心等、豊かな人間性が育まれます。地域・世代・児童生徒・学校・教師が輝く教育を推進してまいります。

### 令和8年度 年間授業時数

標準授業時数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
小学校	850	910	980	1,015	1,015	1,015
中学校	1,015	1,015	1,015			

### 令和8年度小中一貫教育推進事業と地域とともにある学校づくり

少子化が進む毛呂山町の学校の在り方について、平成25～26年度に「小中学校将来構想検討委員会」で、学校のあるべき基本的事項について、平成28～29年度「学校教育環境等検討委員会」で、学校教育の将来的な在り方として「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）に向けて」を報告いただき、平成30年度に「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針」を策定しました。

この「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針」は、各中学校区における小中一貫教育の円滑な推進のための基本的な考え方や指針等を示したものです。

令和3年度より、各中学校区の特性を活かしながら、小中一貫教育を実施しています。学習指導要領を基本として、義務教育9年間を一体のものとしてとらえ、連続性・発展性をもって児童生徒の育成にあたっています。令和8年度も引き続き、児童生徒及び教職員の交流機会を増やし、小中間の滑らかな接続に係る取組の充実や、小中一貫した授業規律や生活のきまりの見直し、小学校のきめ細やかな指導と中学校の専門性を生かした指導方法の工夫改善に取り組み、小中一貫教育の充実を図ります。また、同時に地域とともにある学校として、令和元年度には、毛呂山中学校区、川角中学校区学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」がスタートしました。地域ぐるみで児童生徒を育てる体制を整備し、「地域をつなぎ、『いのち』輝く日本一の学校づくり」を推進してまいります。

小中一貫教育を支えるコミュニティ・スクールは学校教育を地域の皆さま方に支えていただく取組でもあります。令和8年度においても、より多くの地域の皆さまに教育活動を観ていただき、学校と保護者や地域の皆さま方と一緒に協働しながら児童生徒の豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めてまいります。

今後も、小中一貫教育の研究を進めるとともに、地域とともにある学校づくりで教育活動の質を向上させ、学習意欲や学力の向上を図ることを目指し、「地域が輝き、世代が輝く人づくり」を進めてまいります。

特色ある学校教育の推進

事業名	内容
小中一貫教育	小学校と中学校における連携を深め、義務教育9年間をとおして目指す児童生徒像を共有し、共通した教育方針のもと一貫した教育を推進していきます。
地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）	学校の課題に対し、保護者や地域住民が参画し、協働することで、地域総がかりで児童生徒の健やかな成長を支えていく体制づくりを進めていきます。
学力向上支援員	児童生徒の「確かな学力」を育成するため、4小学校に2名の学力向上支援員を配置し、少人数指導・ティームティーチングなどきめ細やかな指導の充実を図っています。
不登校対策相談員	不登校児童生徒数の減少とその解決のため、2中学校に2名の不登校対策相談員を配置し、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな対応や不登校の防止・早期対応に取り組んでいます。
学校支援員	特別支援学級で学ぶ児童生徒や、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒へ個に応じた支援を充実させるために、各小・中学校に学校支援員を配置し、支援体制を整えています。
教員業務支援員	教員がより一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に小・中学校に6名の教員業務支援員を配置し、教員の働き方改革の推進と学校教育活動の充実を図ります。
木城町交流事業	友情都市・木城町との交流の一環として、小学6年生を夏休みの期間に派遣して、交流を図ります。また、学校間の交流を深めるため、毛呂山町と木城町の小・中学校児童生徒の図画、書写作品を交換、展示します。
ALT・国際理解教育	児童生徒の国際理解教育、英語能力の向上を図るためALT（外国語指導助手）を4人配置しています。 児童生徒の英語能力を高めるとともに国際理解を深めます。
理科支援員	児童の科学技術に関する興味・関心を高め、理科授業における観察や実験などの充実を図るために、理科支援員を各小学校に週1回（年間30回）配置し、小学校理科授業の支援体制を整えています。
中学生学力アップ教室（夢はぐくみ塾）	中学1、2年生を対象に、年間20日間実施します。未来を担う子供たちを健やかに育むために、学習が遅れがちな中学生に対して地域と学校の連携・協働による学習支援を行うことで、子供たちが安心して学習できる環境を整備するとともに、地域全体で子供たちを育む体勢づくりを推進することを目的とし、自主学習の進め方の指導や学習支援を行います。コーディネーターと学力向上支援員、大学生サポーターを配置します。
社会科研究展	児童生徒が夏季休業中に取り組んだ郷土の歴史や地理をはじめ、社会科に関することについてまとめた作品を、9～10月、歴史民俗資料館に展示して、優秀な作品については発表会を実施しています。
小学生ステップ・アップ教室	小学5、6年生を対象に、年間50日程度実施します。グループ別少人数指導を通して、児童に「できた・わかった喜び」を味わわせ、基礎学力の定着と学習習慣の確立を目指します。町と委託契約を結んだ学習塾講師を配置、学習塾のノウハウを生かした学習を行います。

□ 学校教育

A   ドリル学習支援事業	日常的にICTを活用することのできる学習環境を整備し、授業での活用や家庭学習において個々の学習進度に合わせて個別最適な学びの提供を行いました。令和8年度は、更に学習支援ソフトを導入することにより、子どもの主体的・対話的な学びの深化（協働学習の強化）や子ども主体の学びの実現（個別学習の最適化）を図り、「個人で考える」「学び合う（共有・編集）」「振り返る」という授業の一連の流れを効率的に進め、個別最適な学びを促進し、基礎学力の定着を図り、町全体で学力を向上させます。
水泳指導業務委託事業	スイミングスクールを使用した、講師による専門的な水泳指導の実施により、生徒の泳力向上並びに天候（猛暑等）に左右されない、安定的な水泳指導を行います。
教育・心理検査委託事業	小・中学校の児童生徒に、教育・心理検査を年2回実施することにより、児童生徒の学級満足度や学校生活意欲、学級の雰囲気などを把握し、いじめ・不登校対策に生かします。

就学援助

家庭の事情（経済的理由など）に応じて、要保護及び準要保護児童・生徒に対し給食費（要保護）、学用品費、修学旅行費（小学校）、校外活動費などの就学援助を行っています。

（単位：人・円）

年度	毛呂小	川角小	光山小	泉野小	毛呂中	川角中	合計人数	金額
30年度	60	63	30	33	82	61	329	23,704,329
元年度	63	55	29	35	61	44	287	23,849,712
2年度	67	60	32	39	83	70	351	14,585,486
3年度	65	59	45	40	68	65	342	26,988,876
4年度	61	45	48	33	80	63	330	11,492,567
5年度	45	45	47	32	66	64	299	25,612,692
6年度	41	42	47	24	70	49	273	9,199,149
7年度	42	40	38	24	49	42	235	5,810,890

特別支援学級の児童・生徒に対して就学奨励費補助を行っています。（単位：人・円）

年度	毛呂小	川角小	光山小	泉野小	毛呂中	川角中	合計人数	金額
30年度	1	7	3	4	3	8	26	982,276
元年度	3	5	2	5	3	4	22	809,792
2年度	6	5	2	5	5	4	27	506,426
3年度	4	6	5	2	7	4	28	866,268
4年度	1	11	2	2	3	0	19	232,524
5年度	5	11	2	1	5	2	26	577,753
6年度	5	15	3	3	3	2	31	340,073
7年度	6	15	4	4	5	2	36	331,683

### 私立幼稚園預かり保育

少子化や核家族化及び女性の社会進出による多様な保育需要の対応と、子育て支援を推進するため、町内の預かり保育事業を実施する私立幼稚園に対して補助を行っています。

(単位：人・円)

幼稚園名	預かり保育実施園児数					補助金額
	満3歳	3歳	4歳	5歳	計	
ながせ幼稚園	19	129	132	137	417	3,093,500
合計	19	129	132	137	417	3,093,500

[令和7年度実績]

### 英語検定受験料補助金

英検の受験機会を拡大することで、児童生徒の英語力及び学習意欲の向上を図るため、受験した児童・生徒の保護者に対して英検受験料の補助を行っています。

(単位：人・円)

	5級	4級	3級	準2級	準2+	2級	合計	補助金額
小学生	6	8	3	0	0	0	17	65,800
中学生		17	38	24	2	0	81	459,100
合計	6	25	41	24	2	0	98	524,900

[令和7年度実績]

□ 学校教育

児童生徒数と教職員数の見込 (単位：人・学級)

学校名		年度	令和8年度 (5月1日現在)	令和13年度 (5年後)	令和18年度 (10年後)
		児童数	301	441	355
毛呂山小学校	学級数	15	18	14	
	教員数	17	20	16	
	児童数	246	151	116	
川角小学校	学級数	15	8	8	
	教員数	17	9	9	
	児童数	192	145	130	
光山小学校	学級数	12	9	8	
	教員数	14	10	9	
	児童数	197	—	—	
泉野小学校	学級数	9	—	—	
	教員数	10	—	—	
	児童数	936	737	601	
小学校計	学級数	51	35	30	
	教員数	58	39	34	
	生徒数	299	222	201	
毛呂山中学校	学級数	11	9	8	
	教員数	18	15	13	
	生徒数	294	193	129	
川角中学校	学級数	11	9	8	
	教員数	18	14	13	
	生徒数	593	415	330	
中学校計	学級数	22	18	16	
	教員数	36	29	26	

※教職員配当基準表より  
(校長・教頭・養護教諭・  
事務職員を除く)



中学生学カアップ教室  
「夢はぐくみ塾」(毛呂山中学校)